

わーかーびいーNews



第20号

平成21年2月

編集：特定非営利活動法人わーかーびいー事務局

住所：札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号

e-mail: info@workerbee.biz

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599



北海道の冬はまだまだ長いけれど、気分は少しだけ、春に向かっていきます
お店のショーウィンドウが春めいてくると、
なんだか気持ちわくわくしてきてしまいますね
春を心待ちにしつつ、20号をお届けします！



4月から自立支援法はどう変わるの？

2月20日に本年4月以降の障害福祉サービス事業の報酬改正案が厚生労働省から示されました。重度障がいの方を受け入れている新体系の事業所、ケアホーム・グループホームの報酬もアップが示されています。職員配置を手厚くしている事業所、専門職の配置を多くしているところ、訪問系サービスにも若干の加算や報酬アップが示されています。まだ「案」の段階ですから、3月の正式な改定内容が出るまでは、今後の見通しについて意見を述べることは先走りになってしまいますが、わーかーびいーのように底値状態の報酬で在宅サービスをメインにしている小さな事業所や、えぼっくのように障害程度区分の重い方を通所サービスやケアホームで受け入れている事業所にとっては、ちょっと期待が持てそうな状況です。

では、サービスを利用する側からみると、どうでしょうか？ 事業所への報酬が上がることによって利用者負担も増えることにはなりますが、現在行われている利用者負担上減額の軽減措置は継続されるということなので、実質的にはそれほど大きな負担増にはならないと見られています。1割負担という原則がありますが、上限額の軽減によって、実際には利用したサービスの平均3%程度の負担になっているという情報も聞かれています。

また、夜間や個別の介助面での職員体制の不安から、ケアホーム利用に二の足を踏んでいるという方の声をよく聞きますが、報酬アップにより職員の増員や、新たにケアホームを設置する事業所が増えていくことになれば、ケアホーム入居を希望されるご本人やご家族にとっても安心感が出てくることと思います。

一方で実はまだまだ解決につながっていない課題も多くあります。その一つに、特に在宅介護の担い手の人材不足は深刻です。施設サービスでは毎日職員を配置しているにも関わらず「サービス提供を行った分（利用人数の日数）だけ報酬が入る日割り報酬」にまだまだ批判があるようですが、ホームヘルプはそもそもサービス提供を行った時間分だけの報酬です。利用希望時間帯は多くが重なり希望に応えきれない、しかしヘルパーが待機している時間も多々あります。キャンセルもあり突発的な利用の希望もありで、不規則な勤務シフトが続く中で勤務時間内で報酬が入ってくる時間は一部だけの状況では、正職員への十分な待遇保障はとても困難です。地域の中で必要十分な生活支援を継続的に安定的に行うことができる仕組みができないと、障がいのある方にとっての地域生活は、常に不安を抱えながらのものであることは変わらないでしょう。（文責：熊井）

気になる木

JRの新札幌駅のホームに、エレベーターが設置されます。乗降客の多い駅だけに、ようやくといった感もありますが、うれしいことです。

駅などのエレベーターや段差解消の話になると、「さんが要望して 駅にエレベーターがついた」、「の段差がなくなったのは さんのおかげだ」といった話をいくつも耳にします。本来あるべきものがないので設置してほしいというのは当然の要求なのですが、一つ一つ声をあげてゆくことでしか改善していかないものだと、このことを改めて知らされます。

さらに、そうした要望のそれぞれに「さんが~のために.....に行きたくて」とあるとか「さんが で買い物をしたくて」といった、ごく日常的な生活上のニーズがあったことを聞き、そのニーズの当たり前なことに驚きます。当たり前のことを当たり前に行うことが阻害されている状況はまだまだあるのだと、そうした話を聞くと、実感するのです。

ともあれ、新札幌駅のエレベーター設置はより多くの方が暮らしやすい街への一歩前進。有効に活用したいものです。

かいけつ太郎行動援護サービス提供責任者 小室聡司

こんなことやったよ! (行事報告)



☆わーかーびいー クリスマス会☆

去る12月7日(日) 平岡まちづくりセンター(平岡会館)で「わーかーびいークリスマス会」を開催しました! いつもわーかーびいーをご利用してくださっている皆様へ、感謝の気持ちをこめて行う、年に一度の恒例行事...手作りのクリスマスパーティーです! 今年は会場も変わって心機一転『念をこめてつくど願いがかなう?!』というわーかーびいーの餅つきから始まり、できたてのお餅はお好みの味付けで、今年もお客様も参加できる『何でも発表会』を開催。普段は聴く事の出来ない、お客様の歌声を聴く事が出来て、職員一同、うれしい気持ちでいっぱいでした。ビンゴ大会では見事ビンゴが出た方に、素敵なプレゼント!!もちろん、ビンゴが出なかった方にも、サンタさんからプレゼント。参加して下さった皆様のお手元には、どんなプレゼントが届きましたか???最後はみんなで「崖の上のポニョ」と「ジングルベル」をうたって踊って、たくさんの方にステージに上がってもらいました。石屋製菓からは白い恋人、明治製菓からチョコレートやカールなどのお菓子を寄贈していただき、各テーブルへ。会場後ろのぱっぴい~びい~んの販売ブースでは、クリスマス雑貨やストラップ、エコクラフトなど、様々な商品でお出迎え。このブースでの売り上げは、はっぴい~びい~んの活動にあてさせていただきます。2008年も、わーかーびいーは皆様に支えられながら、無事にクリスマス会を開催することが出来ました!ありがとうございました!!2009年も、わーかーびいーをよろしく願います!



特別黄昏企画

レッツ! スノーワールド

2月8日(日) 黄昏キャンパスを利用しているお客様を対象に、「特別黄昏企画・レッツ!スノーワールド」と銘打って滝野すずらん公園スノーフェスティバルに参加してきました! 応募人数は募集定員以上の大盛況。厳選な抽選の末に選ばれた6名のお客様と、スタッフ、ボランティアの総勢13名。当日はあいにくの悪天候でしたが、出発時にはすっきり晴れて、無事に到着! 午前中は「チューブすべり」。リフトを利用してそり専用コースの上まで登ったら、チューブは風を切って滑って行きます! そりに乗ったまま登れるリフトも魅力的。お昼休憩には、お弁当をみんなで食べました。午後には、みんな思い思いのアトラクションであそんでいます。馬がそりを引いてくれる馬そりや馬に乗れる引き馬、滑り台、雪だるま作りなど、冬の寒さなんて吹き飛ばすくらい、楽しそうな笑顔でした。毎年恒例の滝野すずらん公園スノーフェスティバルへの参加企画...。今年は真っ白な雪の中の参加となりましたが、時間が足りなくなるくらい楽しんでいただけただけで、職員一同、うれしい限りです。来年は晴れるといいなあ...。今年は抽選にはずれてしまった方も、応募また来年も、よろしく願います。

火の用心!!

年末から絶えない火事のニュースに、胸がいたみます。空気が乾燥している季節は、火事がおきやすい環境になっています。暖房器具の周りに、燃えやすいものはありますか? ストープの上に、洗濯物を干していませんか? スプレー缶は暖房器具の近くにありませんか? 外出時や、就寝前などは特に注意しましょう!
火事が起きたら...(防災の心得)
早く知らせる...119番
早く逃げる...火が天井に達したら、自力で消すのは不可能です。



お詫び

広報誌18号に掲載した、「指定相談事業 ますとびいー」の電話番号に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。正しくは、『011-299-3856』です。申し訳ありませんでした。管理者 熊井ゆかり



編集後記

気分だけは春! そんな陽気に誘われて、高橋は髪をばっさり切りました! でも、現実はまだ冬! 今まで髪が長かっただけに、髪に守られて暖かかった首元が、今はスースーして寒いです。マフラーが必需品になってしまいました。今年は暖冬とはいえ、油断は大敵ですね...(^^;A
ところで、今年の雪まつりには、皆さんは参加しましたか? 今年は60周年ということで、盛大に行われたようです。私も参加したのですが、日中は暖かくて過ごしやすく、ゆっくり雪像を見て回れました。ところが、暖冬は雪にとっては大敵! 涙やよだれを流している雪像もたくさんでした(笑)雪まつりも終わって、雪も溶けて、やっぱり気分は春。今年は早く春のおとずれを実感できそうな予感...(^^) 高橋未和

- < 特定非営利活動法人わーかーびいー >
- 障がい福祉サービス事業所 かいけつ太郎~ケアサービスステーション
〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号 TEL011-893-1199 FAX011-893-5599
- 障がい福祉サービス事業所 とんとん
〒002-0855 札幌市北区屯田5条4丁目1-67 東側 TEL011-887-8173 FAX011-887-8174
- 札幌市委託相談事業所 ますとびいー
〒004-0045 札幌市厚別区厚別中央4条2丁目19番15号 TEL011-299-3856 FAX011-894-3899
- 千歳市障がい者総合支援センターChip (千歳市委託事業) 石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民 (北海道委託事業)